

平成 26 年 11 月 北秋田市長定例記者会見

平成 26 年 11 月 05 日（水）11 時 00 分

市役所本庁舎 大会議室

1. 国民文化祭あきた 2014 について
2. ティディエス株式会社秋田工場の増設について
3. 大館能代空港運賃助成事業について
4. 秋田大学「地（知）の拠点整備事業」フォーラム 2014 in 北秋田について

1. 国民文化祭あきた2014について

さる10月4日から開催されておりました第29回国民文化祭あきた2014も11月3日で幕を閉じました。

ご案内のとおり、当市では「チェンソーアートフェスティバル」「現代詩フェスティバル」「内陸線アート」の3つの事業を行ったところ、天候にも恵まれ、盛会裏に終えることができたものと思っております。

特に、「チェンソーアートフェスティバル」では、期間中も5千人近い来場者がありましたし、期間終了後も展示作品を見に来られる方々が後を絶たず、チェンソーアートの素晴らしさを多くの皆様に伝えるという目的が果たせたものと考えております。

また、「現代詩フェスティバル」では、詩作の旅と現代詩大会に全国から多くの参加者をお迎えし、当市の魅力を発信できたものと思っておりますし、詩と郷土芸能のコラボレーションは、市民の皆様にとりましても地元の伝統文化を改めて見直す良い機会になったのではないかと考えております。

さらに、「内陸線アート」では、多くの著名なアーティストの作品に触れる機会となりましたし、特に旧浦田小学校に作られました「魚座造船所」には、製作段階から多くの方々に高い関心を示して頂き、約1,000人を超える方々が訪れてくれたとのことであります。ご協力を頂きました地域住民やボランティアの方々に、この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。

現在取りまとめを行っておりますが、期間中の来場者数は二万人を超えたとのことであり、大変多くの皆様がそれぞれ思い思いの文化に触れて頂いたものと考えております。

この国民文化祭につきましては、平成24年度から準備を進めてきたわけでありますが、企画段階から運営において、多大なるご尽力を頂きました実行委員ならびに企画委員の皆様には深く御礼を申し上げますとともに、様々な形で取り上げて頂きました報道関係の皆様にも心から感謝を申し上げます。

この度の国民文化祭を通して、全国に当市の魅力を大いに発信できたものと認識しておりますが、これを契機として、今後は十分な検証を行いながら、文化振興はもとより北秋田市のさらなるPRにつながるように取り組んでまいりたいと考えております。

2. ティディエス株式会社秋田工場の増設について

この度、大野台工業団地に進出しているティディエス株式会社秋田工場の増設が決定となりましたのでご報告いたします。この会社は、自動車や医療機器、光学機器や事務機器などの幅広い分野で使用されております「ソレノイド」と呼ばれる製品を約 2,100 種類以上製造しており、単一メーカーとしては国内トップシェアで、世界的にもトップクラスの実績を誇っております。

その国内唯一の生産工場が当市の秋田工場になるわけですが、今回の増設により、十数名の雇用が見込まれ、将来的には 30 名程度の雇用拡大を計画しているとのことであります。

なお、今回の増設は 9 月定例会において議決されました工場立地法の緑地面積緩和措置の第 1 号としての適用が見込まれ、北秋田市工場振興促進条例に基づく助成も予定されており、雇用の創出をはじめとする地域経済の活性化に大きく寄与して頂けるものと、とてもうれしく感じているところであります。

ティディエスさんにつきましては、先日行われました産業祭にも初出展をして頂いたところでありますが、今回の産業祭では、おかげ様をもちまして 2 日間で 1 万人にせまる来場者数となったところであります。

これも出展して下さいました企業や農家の皆様をはじめとする関係各位のご尽力の賜物であり、この場をお借りして心から御礼を申し上げますとともに、PR をして頂きました報道機関の皆様にも感謝を申し上げたいと思います。

3. 大館能代空港運賃助成事業について

市民の空港利用促進を図るため、大館能代空港発着の航空機利用者に対する、航空運賃の一部を助成することとなりました。

この事業は、冬期間の搭乗率低下を防ぐために、12月1日から来年の3月31日までの搭乗分に対して助成するものであり、交付対象者は、航空機に搭乗する日に北秋田市に住所を有する方で、助成金額は昨年同様の片道2,500円となります。

今回で四年連続の実施となり、毎回好評を頂いている事業であることから、今回も大いにご利用頂き、空港利用促進につなげてまいりたいと考えております。

4. 秋田大学「地（知）の拠点整備事業」フォーラム 2014 in 北秋田について

11 月 21 日金曜日の午後 1 時から、阿仁ふるさと文化センターにおきまして、秋田大学「地（知）の拠点整備事業」フォーラム 2014 in 北秋田が、大学と市の主催により開催されます。

この事業は、Center of Community 略して C O C 事業と呼んでおりますが、自治体等と連携し、地域に対する教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、地域再生・活性化の拠点となる大学の形成を目指して行われているものです。

当市においても、急激な人口減による過疎化、経済基盤の脆弱化が進行する中で、市内各地域では民俗芸能や伝統行事の継承が一様に危ぶまれています。そこで、かつての鉱山で栄えた阿仁の文化を発掘・復活させ、これを核とした文化振興による新たな地域づくりを目指していこうと「鉱山の隆盛がもたらした阿仁文化の現代への活用〈阿仁の今昔物語〉」をテーマとした取り組みが行われており、その一つとして今回のフォーラムも開催されるものであります。

当日は、澤田学長も出席される中、記念講演として、荻 慎一郎（おぎ しんいちろう）高知大学教授による「江戸時代の阿仁鉱山と地域」と題した講演が行われるほか、秋田大学からの事業報告が行われます。入場は無料ですし、事前の申し込みも必要ありませんので、ぜひともたくさんの方々にご参加頂きますよう、P R の方をよろしくお願いいたします。